

Jプログラムレポート

日本の「かわいい」について

12684011 蔣明敏

(海南大学交換留学生)

平成 25 年 8 月 7 日

はじめに

日本では若い女の子の間で、たとえば女子高校生グループのあいだで「かわいい」という言葉がほぼ毎日使われていると思う。誰かが「これ、かわいくない？」と聞くと、「かわいい、かわいい！」と皆がくちを揃えて答える。今や何をしても、「かわいい」の一言で友人同士のコミュニケーションが取れてしまう時代なのである。それでは、なぜ彼女たちは「かわいい」という言葉に固執するのだろうか。「かわいい」というのは、日本や日本人に対して、どのような存在だろうか。

渋谷でも原宿でもいい、東京で若者の集う繁華街を歩いてみよう。デジタルディスプレイから店先の広告まで、街角の映像と記号の多くには、「かわいい」の香辛料が振りまかれている。本来は厳粛な空間であるべき銀行ですら、マンガのキャラクターを大きくあしらっている。通行人はというと、細々としたストラップで飾り立てた携帯電話をひっきりなしに用い、友人に贈り物をするために小さなグッズの探索に忙しい。そのバッグには小さなぬいぐるみが結び付けていたり、アニメのキャラが描かれていたりする。¹

しかし、日本の「かわいい」は、いったいどういう表現なのか？日本人にとっては、「かわいい」はどのような存在だろうか。本稿では日本の「かわいい」についてを考察してみたい。

1. 「かわいい」の意味

日本人が何か新しいものに出会ったとき、たいてい場合、口を衝いて出るのは「か〜わい〜い！」である（と思う）。日本で「かわいい」という語を聞かないで、一日を過ごすことはほとんど不可能である。いったい「かわいい」は日本人の意識でどのような意味があるだろうか。

1.1 辞書における「かわいい」の語意

「かわいい」は字面の意味だけを読めば、『日本国語大辞典』（第二版、小学館、2011）の中で、以下のように述べている：

¹ 四方田犬彦 「かわいい」論 ちくま新書 2006 P13-14

- ①哀れで、人の同情をさそうようなさまである。かわいそうだ。ふびんだ。いたわしい。
- ②心がひかれて、放っておけない。たいせつにしたいという気持ちである。深く愛し、大事にしたいさまである。いとしい。
- ③愛すべき様である。若いらしい。イ（若い女性や子供、顔や姿が）愛らしく、魅力がある。ロ（子供のように）邪心がなく、殊勝なさまである。いじらしい。
- ④（物や形が）好ましく小さい。
- ⑤とるに足りない。あわれむべきさまである。やや侮蔑を含んでいる。

1.2 現在の日本人が考える「かわいい」の意味

しかし、現在、日本人、とくに若い世代の女性たちは、もっと様々な意味で「かわいい」という言葉を使う。たとえば、学生たちはしばしば（相手は男性教員であっても「〇〇先生かわい〜い」というようなことを口にするが、それはその教員を軽く見ていたり、自分よりも下に見ていることを表すわけではない。教員を尊敬していることと、けれども、その先生のことを「かわいい！」ということとはけっして矛盾しない。このような「かわいい」という言葉はいつ頃から日本語に現れるようになったのだろうか。

日本の「NAVERまとめ」²の調査結果によると、女性の言う「かわいい」に含まれる意味：
①外見的「かわいい」：これは言うまでもないことなのだが、容姿・外見について愛らしいと判断されるものについての表現だ。対象をかわいいと感じるかどうかは、個人の判断によるが、この「かわいい」には他の意味は含まれておらず、容姿・外見を評価する言葉として使われている。まれに美しいものをかわいいと形容する場合もある。

②母性からの「かわいい」：女性には母性が備わっており、自分より小さいものか弱いものに対して、世話をしたくなる感情があるようだ。自分が世話をしたくなるものに対して、かわいいと表現することがある。主に動植物に用いられる。③自己表現としての「かわいい」：先にも述べたことだが、女性の「世話をしたくなる感情」は母性に紐付いたものであり、「かわいい」と評価する対象よりも、自分の力が上回っていなければ発せられない言葉である。つまりこの言葉を通して、暗に自らの存在の主張または自己を表現している。「かわいいと評価する自分」を周りにアピールして場合がある。

④反語としての「かわいい」：1990年代以降、「かわいい」の前に別の形容詞をつけて表現

² NAVER まとめ（ネイバーまとめ）とは、NHN Japan 株式会社が運営する CGM 型 Web キュレーションサービスである。

するケースが登場した。「ブスカawaii」、「キモかわいい」がそれである。当初はブス・キモいなどの言葉のネガティブな意味合いを和らげるために使われたそうなのだが、最近はこちらが転じてかわいいの一語で済まされるようになったのではないかと感じる。女性たちがかわいくないものにまで、かわいいと言うのは、そのためではないだろうか。

⑤他の欲求を表現する「かわいい」：たとえば、料理を見て「かわいい」と言う場合がある。料理の盛り付けに対して、愛らしさを感じていると思われるのだが、その本来の「おいしそう」という表現を省いて、かわいいの一言で評価することがある。また、愛着をより強く表現するためにこの言葉で表現するケースもあるようだ。

⑥コミュニケーションをスムーズに進めるための「かわいい」：女性同士がお互いを「かわいい」と言い合う場合には、そこに愛らしさや母性は存在しない。あくまでも、円滑なコミュニケーションをはかる言葉として、表面的なかわいいが存在する。この言葉を多様することにより、相手に関心がある状態を維持しているのである。

2. 大衆消費社会での「かわいい」

日本人は「かわいい」商品が好きというのは皆知っている。それでは、日本のメディアはどのように「かわいい」について語っているだろう。ここで、女性雑誌の中から、読者の年齢層と社会的階層が違う以下の四冊を選んで、「かわいい」のイメージを分析する。

2.1 雑誌が描く「かわいい」

2.1.1 雑誌『Cawaii!』

この雑誌は十四歳から十七歳までの女性読者に向けて、やたらと賑やかで騒々しい印象を与える雑誌である。大判の紙面は、ほとんどのページがごちゃごちゃとした小さな写真の組み合わせになっていて、そこに細かく情報が小さな活字で添えられている。女子高校生が関心をもっている、ファッションや化粧の仕方、心理テストなどについての知識がびっしりと書き込まれている。

『Cawaii!』が読者に伝えたいメッセージはきわめて単純である。いかに「男の子」を惹きつけ、彼の目に留るようにするか。「かわいく」あることは、そのために、女の子は心が

けておかなければならない必要な条件である。

この雑誌をもっとも特徴づけているのは、十代後半の女性たちの「かわいい」ファッションを撮った夥しい写真の側に添えられている見出しの、異常なまでに誇張された文体である。「バンビ e y e でモテ GAL ねらってますが何か」「やっぱりセクシーにいくならアニマルが勝負っ!」「海ナンパされやすいスタイルはこれだあ!!」単語という単語を短縮化するばかりか、日本語の文字表記を思い切り攪拌させ、元気よさと決意、挑発の身振りを強く感じさせる。

この雑誌で表わす「かわいい」は、同年代の異性に向けられた挑発と媚態である。

2.1.2 雑誌『CUTiE』

この雑誌は十七歳から二十歳までの女性読者に応じている。雑誌の表紙に小さく「For independent girls」と記されている。『CUTiE』の文体は先の雑誌と比べれば、はるかに落ち着いていて、どちらかといえば思索的であり、ある特定の読者にのみ語りかけるかのような選別的な演出が施されている。

『CUTiE』の読者は『Cawaii!』ほどに外交的でもなければ、集合的でもない。彼女は自分が映像化されたモデルを夢見ているように、誰か他人によって、夢見られている自分という存在を自ら夢見て、ユートピア的な幸福感に到達する「かわいい」とは男の子という異性の目からみた在り方ではなく、どこまでも自分が自分にたいして抱いている映像でなければならない。当然のことながら、そこではセックス記事は排除されている。私とは選抜された、希少な存在である。私が「かわいい」のは、「私は普通の人と違って、特別な人の集団の中にいる」ということを意味する。

『CUTiE』がちょっと変わった「キラキラバッグ」や「デカショルダー」を細かく紹介するのは、そうした細部の差異の集合体が人格化されたことにこそ「かわいい」が実現されるという、消費社会の約束ごとに従っているためである。

2.1.3 雑誌『JJ』

十八歳から二十二歳位は「かわいい」が危機に陥る年齢である。この年、女の子はもう「可愛い」とは言われたくない。大人の女性として、「きれい」なり「セクシー」と呼ばれたいという意識が台頭し、かと言ってこれまでの「かわいい」路線に完全に訣別することもできない。³『JJ』はこの時期の女性を読者対象に設定しているのである。ここでは

³ 四方田犬彦 「かわいい」論 ちくま新書 2006 P56-60

『Cawaii!』の多幸症に生きることが年齢的にもはやできなくなったり、『CUTiE』に代表されるユートピア的無時間性に生きることが初めからできない転形期の読者のために、分裂したモデルが採用されている。従来の未成熟な少女の世界をファッションブルに演じてみたいときには、「妹スタイル」に基づいて、「正統派っぽいブーツに合わせ」たツイードミニが採用され、成熟した大人っぽい世界に参入したいときには、「姉っぽい」「ワイドめパンツ」が選ばれる。

ここでは、「かわいい」と派手で大胆であることが、一見対立して描かれている。だがより重要なのは、それが可逆的であるところに「フェミニン」の本質が横たわっているという立場であり、この指標に応じて読者が「かわいい」から、事前に離脱して、次の大人のステージに進むことが暗に勧められている。

2.1.4 『ゆうゆう』

『ゆうゆう』は中高年齢層の女性を読者に想定した月刊誌である。これはファッションの雑誌ではない。心身の健康の維持を柱として、人間関係から料理、読書まで日常生活の全体を主題に選び、成熟と達観の眼差しをもとに編集された雑誌といえる。二〇〇五年九月号では「いくつになっても大人の可愛さが持てる人」という特集がされている。

ここで、「可愛く」あることを通してのみ、人は年齢を超えることができる。若さが過ぎ去った後の喪失感をゆうに凌駕する幸福に至ることができる。それは成熟と長いキャリアの末にふと訪れることになるささいな瞬間ではあるが、「可愛く」ないかぎり人は幸福になれない。誰かを「可愛い」と呼び、その「可愛い」を信じることのできる者だけが、真に「可愛い」に到達できる存在であるということだ。そのために読者は、日常生活のなにげない状況の中に「可愛い」を発言していくことが推奨されている。

2.2 「かわいい」は専属的なものではない

『Cawaii!』から『ゆうゆう』まで、「かわいい」を語るメディアが説いているのは、幸福感であり、消費主義であり、生理的年齢に対する勝利である。では、そこで隠蔽されているものは、なんだろうか。なぜ女の子は「かわいく」なければならないのか。それは女の子だからである。なぜ成熟した大人は「可愛く」生きなければならないのか。それは成熟した大人だからである。消費社会では、メディアの力で、読者を扇動し、挑発して、消費への欲望を喚起させるのに、「かわいい」は特定の人のものではなく、誰でも求める権利がある。「かわいい」は年齢層にかぎりが無い。

3. 「かわいい」世界と切り離せない日本人

3.1 「かわいい」世界と「社会人」の世界

日本人は「かわいい」かどうかをめぐってもめる。たとえば、日本人女性は可愛くなりたいと思っている。そして、日本人男性はかわいい女性が好きである。製品、特に洋服から、車、家具、アクセサリなどに至るまで、かわいいデザインのものがある。人やものはかわいくなくてはならない。なぜなら、かわいいことは良きことだからである。

さきに言ったとおりに、女性に対して使われる「かわいい」は、どんな状態を表しているのかがずいぶんと分かりやすい。「かわいい」はお洒落ていて、弱い状態、依存しており保護を必要としている状態のことである。「かわいい」の世界観には、強さや自立が入りこむ余地はないし、責務や責任のついている間もない。「かわいい」の世界は屈託のない世界であるから、「かわいい」は子供らしい状態のこととも言える。「かわいい」世界は大人の状態ではない。であるから、テレビドラマの女性刑事が強くて、自立おり、責務を遂行し、責任をとっているから、「魅力的」「きれい」「美しい」とは言われるかもしれないが、かわいくない。

しかし、日本には、「かわいい」存在があるだけではない。「かわいい」は日本の一つの世界であるが、そこには同時に、もう一つ別の対象される世界がある。それは「社会人」の世界である。「社会人」の世界は強さと自立した状態を表し、任務遂行の業務や責任、役割と圧力を伴う。「かわいい」の世界と「社会人」の世界は対極にある。

3.2 厳しい「社会人」の社会

どのような社会にも、義務と責任の概念を負う規則がある。しかし、日本と他の国と比べれば、日本は非常に厳しいと思う。まず、社交、衣装、日本語についての規則がとても複雑で細かい。

たとえば、中国では就職活動の面接にスーツを着ることが、たいてい良いこととされているが、必ずしもすべての面接にスーツの着用が必要ない。しかし、日本では、就職活動での面接の際はいつもスーツ着用が要求されており、しかもそのスーツはどれでもよいわけではなく、特定のスーツスタイルが存在する。リクルートスーツである。

また、別の例だが、日本語を学ぶとき、日本語でのコミュニケーションの取り方を教そ
わったさい、ひたすら、お願いの仕方、断り方、謝り方、許し方について学んだ。なぜな
ら、日本では、そのような際に定型化された会話のやり方があるので、細かいルールに従
って、期待されるようにコミュニケーションをとらなくてはならないからだ。

3.3 「社会人」は「かわいい」の世界を希求する

たくさんの細かいルールがあるということは、間違いや失敗する可能性も高くなる。だ
から、日本人は常に「がんばって」と声をかけて、相手はいつも最高を尽くすよう期待さ
れている。それはよくないことではない。しかし、私が印象深いのは、日本人はよく心配
し、間違うかどうか、やっていることが皆の期待にそっているかどうか、と気にしすぎて
いる。

「社会人」の世界でも、日本人は心配ばかりし、悩み、圧力やストレスにさらされてい
る。こうした状況で「かわいい」世界の希求と必然性につながっていることだ。

「かわいい」の世界は逃避の場を提供してくれて、リラックスさせてくれ、規則や責任
を忘れた無防備な状態でいさせてくれる。「かわいい」の世界の中では、毎日遊んでもよ
い、弱かろうが依存的であろうが構わない。「かわいい」世界は日本人が「社会人」の世
界でさらされるストレスや圧力に除去して、憩いを与えてくれるという逃避機能をもっ
ている。こうした面を見ると、「かわいい」の世界は日本人にとっては非常に重要である。

おわりに

本稿では、日本の「かわいい」現象から着手して、「かわいい」に関連する日本人や日本
のこと、および世界の「かわいい」など、さまざまな面から詳しく調べて分析した後、そ
れに対して、以下のことが分かった。

1. 「かわいい」の価値基準は人によって相当異なっている。しかしこの一言で、共通認識
に近い状態が生まれるので、大変便利な言葉であるといえよう。その反面、実際は同じよ
うに感じていないにも関わらず、一言で済ませるのは危険なコミュニケーションとも考え
られる。
2. 「かわいい」は誰の特許ではない。誰でも求める権利がある。「かわいい」は小さいも
の。どこかしら懐かしく感じられるもの。守ってあげないとたやすく壊れてしまうかもし

れないほど、脆弱で儂げなもの。どこかしらロマンティックで人をあてどない夢想の世界へと連れ去ってしまう力を持ったもの。愛らしく、奇麗なもの。眺めているだけで愛くるしい感情で心がいっぱいになってしまうもの。

3. 日本人にとっては、「かわいい」は単なる一つの言葉ではなく、アイディア、概念、考え方、哲学を含んだ言葉なのである。しがし、重要なことはそれが理想的とされていることだ。毎日、職場で頑張っている日本人は、子供っぽい「かわいい」世界を憧れている。

「かわいい」世界が存在するから、つらい一日の仕事を終わった後、疲れ果てた人の顔に笑顔がこぼれるのである。

参考文献：

1. 『「かわいい」論』 四方田犬彦 筑摩新書 2006
2. 『「ポケットモンスター X・Y」は2013年10月12日（土）に世界同時発売！』
【Nintendo Direct @ E3 2013】 <http://www.famitsu.com/news/201306/11034770.html>
(2013年7月25日)
3. 『現代日本の〈女の子〉小説 — 「かわいい」ってどんなこと』 菅 聡子
http://www.cf.ocha.ac.jp/gec/in/l_meeting/4.pdf#search=%E7%8F%BE%E4%BB%A3%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AE%E3%80%88%E5%A5%B3%E3%81%AE%E5%AD%90%E3%80%89 (2013年7月25日)
4. 『女性誌から「かわいい」とは何かを考えてみる』
<http://taf5686.269g.net/article/3693885.html> (2013年7月26日)
5. 『モードの体系』 ロラン・バルト 佐藤信夫訳 みずみ書房 1972
6. 『世界カワイイ革命』 櫻井孝昌 PHP 研究所 2009
7. 男の「可愛い」と女の「かわいい」はどう違うの？ 2012
<http://matome.naver.jp/odai/2133535199128570701> (2013年7月27日)